

将来展望のある漁業のモデル作り

〔概要〕

経済セミナーが震災後半年を経過したことを機に、経済学者の立場から震災復興を論じた増刊号において、「3. 産業の復興と雇用」の水産業について担当した。水産業の日本経済における位置づけは小さいが、被災 4 県（岩手から茨城）におけるウェートは平均より高い。漁港の被害数（岩手 111、宮城 142）や漁船の被害数（4 県計 14 万）は一見巨大であるが、リアス式の入り江に 1 つずつ置かれた小規模漁港がほとんどであり、漁船は全国から中古船の融通も開始されている。